

平成25年11月1日(金)～平成26年3月23日(日)
国指定重要文化財公開

首里城
京の内跡
出土品展

文様に込められた思い

【凡　例】

1. 本書は、国指定重要文化財公開首里城京の内跡出土品展(開催期間 2013(平成 25)年 11月1日から 2014 年(平成 26) 3月 23 日)を補完するものとして編集・作成したものである。
2. 当該企画展は、沖縄県立埋蔵文化財センターが主催し、開催する。
3. 掲載写真の撮影は矢充章浩が行った。また、許可無く本書の複製および転載、複写を禁ずる。
4. 中国産以外の陶磁器に関しては产地を記載した。
5. 調査報告書に記載されている資料名と本書に記載されている資料名が一部異なるものが存在する。これは報告書刊行後、新たな研究成果によって詳細が判明したことによるものである。

ごあいさつ

重要文化財「首里城京の内跡出土陶磁器」は首里城京の内地区から一括して出土した陶磁器類であります。14世紀中頃～15世紀中頃の中国、東南アジア、日本で生産された優品 518 点が、我が国の歴史上意義深く、かつ学術的にも価値の高いものとして、国の有形文化財（考古資料の部）の指定を受け、沖縄県立埋蔵文化財センターにおいて適切な保管・管理を行っています。

さて、当センターでは、平成 15 年度から毎年度企画展「重要文化財公開 首里城京の内跡出土品展」として、多くの県民に公開しています。今回は来年3月までの5ヶ月間の開催を予定しており、ぜひ、多くの皆様にご観覧いただきたいと考えています。

首里城京の内跡出土品は、平成 6 年度遺構確認調査の際に倉庫跡（1459 年の火災で焼失）の一角からまとめて出土した陶磁器で、14 世紀中頃～15 世紀中頃の中国、東南アジア、日本の陶磁器の様相を示すものとして貴重であり、かつ学術的な価値も高く評価され、平成 12 年 6 月 27 日に国の重要文化財となりました。中には世界的に見ても報告例の少ないものもあり、大変貴重な資料となっています。

これらの貴重な品々は周辺諸国との交易により首里城にもたらせたものであり、城内の各種儀礼や祭祀等のほか、中国からの冊封使を歓待する宴などに供されたものかと思われます。このような煌びやかな器に盛りつけられた料理や酒の味は格別ではなかっただろうか。

今回の企画展では、これまでと少し視点を変えて「文様に込められた思い」にスポットをあて、首里城内の他地区出土の資料も紹介しながら、陶磁器に施された文様やデザイン等に注目し、図柄の示す意味合いや込められた陶工の思いを感じていただければと思います。

今回の企画展が重要文化財「首里城京の内跡出土陶磁器」に対する皆様のご理解が深まるだけでなく、琉球王国の王城としての「首里城」の再発見の機会となり、さらに、本県の文化財の魅力や価値に興味を持つきっかけともなれば幸いです。

平成 25 年 11 月 1 日
沖縄県立埋蔵文化財センター
所長 下地 英輝

もくじ

ごあいさつ	1
もくじ	2
文様に込められた思い	3
植物	4
動物	6
いろいろ	8
京の内閣連年表	10
重要文化財指定基準・重要文化財指定の名称と指定理由	12
重要文化財 首里城京の内跡出土陶磁器指定一覧	13
重要文化財展示リスト	14

文様に込められた思い

京の内跡から出土している陶磁器には、器の表面や内面に文様を描いたものが多くみられます。文様の種類や性格は様々ですが、ほとんどの場合は単純なデザインなどではなく、文様によって陶磁器をめでたいもの、清浄なものにしようとする意図があったと考えられています。具体的な例としては、「除魔招福（災厄を除去し幸福を招き入れること）」「長命富貴（長寿で財産があり身分も高いこと）」「大宜子孫（子孫が多く誕生して一族を繁栄させること）」などといった、いわゆる俗世での利益を求めるような内容が大多数を占めます。現世での生活をより良いものにしたいという当時の人たちの思いは、現在の私たちの願いにも通じるところがあります。このような視点で京の内跡出土品をみていくと、従来とは違った発見があるのではないかでしょうか。

植物

Flowers & Trees

陶磁器に描かれる植物には牡丹・菊・梅・蓮といった花や、唐草・松・松・芭蕉・水草など草木をモチーフにした文様があります。

これら陶磁器の文様には生産地である中国に伝わる風習や思想の影響を受けており、美しさや豊かさ、長寿への願いが表現されています。

基本的には文様を陶磁器の内外の側面や見込みに平面的に描きますが、なかには陶磁器そのものを植物に見立てて文様を立体的に描くものもあります。



1



2

牡丹

牡丹の文様が描かれる陶磁器は多く、唐草も一緒に描かれるなど多くのバリエーションがあります。



3



梅

梅は花だけが文様として描かれるだけでなく、木に咲く様子が描かれたり、また松・竹・芭蕉と一緒に描かれたものもあります。



4

5

蓮

蓮も牡丹と同様に多くの陶磁器に描かれています。文様の描き方もさまざまで、花全体を平面的に描くものや、陶磁器を蓮に見立てて文様を立体的に描くものがあります。



6



7

唐草・宝相華

唐草・宝相華は単体で描かれることは多くなく、牡丹や蓮など他の文様と一緒に描かれることが多く、また描き方の種類が多い文様です。



菊



水草



芭蕉



菊



松

8

その他

今回紹介した文様以外にも植物をモチーフにした文様は多く、京の内や首里城からは松・芭蕉・水草などが描かれた陶磁器が出土しています。

動物

Animals

首里城跡から出土した陶磁器には、多くの動物が描かれています。まず、想像上の動物として、龍・麒麟・鳳凰、実在するものとして魚・鳥・馬・獅子などがあります。

動物のモチーフは、中国産やベトナム産陶磁器に多く描かれていることから、彼の地で生息もしくは寵愛されたものだったと考えられます。



9



10



龍

中国では、龍の文様は宮廷でしか使用できないもので、特に爪が5本は天子、3、4本は天子一族が使用することになっていたようです。首里城跡出土のものは3、4本が多く、これは琉球と中国が冊封関係であったことから、許された文様だったかもしれません。

龍は青花に描かれることが多いですが、龍の形を張り付けた白磁や、龍をかたどったベトナム産青花の水注もあります。



11



12

鳳凰

元青花の壺にはおそらく尾を閉じた鳳凰が描かれ、ベトナム産青花の水注には鳳凰がかたどられています。



13



麒麟

龍・鳳凰と共に中国では靈獸とされていて、重要な文様となっています。



3

獅子

獅子はライオンに当たるもので、イスラム、エジプト、ローマなどでは古くから文様として使われていました。京の内跡出土品には、青磁壺（蓋）のつまみに獅子がかたどられたものなどがあります。



魚

特に多いのは、盤や皿に2匹の魚が対に配置された「双魚文」です。これらは、魚の形を単独で造り貼り付けたものや、スタンプで刻印されたものがあります。口にひげがあつたり、さざくれ立つた鱗の様子から、コイやフナの淡水魚がモチーフと考えられます。また、魚をかたどった瓶の把手や水注などもあります。青花にも描かれることがありますが、首里城跡のものは青磁が多いです。



その他

動物の文様の中には、こうもりと思われる色絵碗や、青磁壺の蓋におたまじやくし?を連想させる文様、馬具を装備した飾り馬や裸馬、鴨などの水鳥と、種類までは不明ですが首が長い鳥など、様々な動物が描かれています。

いろいろ Others

ここでは動物と植物以外の文様を紹介します。人物・ラマ式蓮弁・八宝・文字・雷文・唐草・
四方襷・七宝などがみられます。これらの特徴としては主役の文様になる例が一般的に少なく、むしろメインとなる文様の脇を飾るように配置される場合が多い点を挙げることができます。



17



18



19

人物

人物は外面胸部や蓋甲に描かれることの多い文様で、仙人や天女のような空想上の存在のほか、当時有名だった戯曲の一場面を表現したものがあります。



1



2



4



20

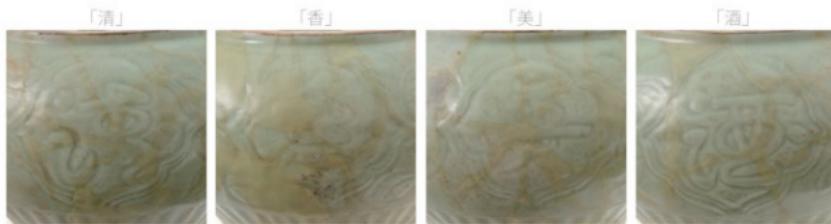


21

ラマ式蓮弁・八宝

ラマ式蓮弁とは外面の肩部や脚部に描かれる特徴的な装飾で、蒙古との関わりがあるとされています。

八宝とは特定の器物（団扇・花籠など）で神仙を表現するもので、基本的には八人の神仙に対応する8種類の文様を描きます。ラマ式蓮弁の中にみられる場合が多く、両者は関係の深い文様ともいわれています。



22



24

文字

文字は器のあらゆる場所に施される文様で、「清香美酒」「福」「禄」といった吉祥とされる意味合いを持つものや、梵字のように宗教的な要素を含むものがあります。



25



1

雲

雲は内底に描かれることが多く、形態からめでたいものと考えられています。



雷文

四方擗



七宝



如意頭



四方擗



その他

雷文・如意頭・四方擗・七宝などのように、単独で何らかの意味を主張するのではなく、文様帯を区画するために使用されているものもあります。

第二尚氏		第一尚氏	
			
		青磁雷文帶八角皿(中国)	青花牡丹唐草文水注(中国)
			
			青花牡丹唐草文梅瓶(中国)
			
		青磁双耳唐草文瓶(中国)	青磁高足杯(中国)
			
		ベトナム青花唐草文面取瓶(ベトナム)	青磁口折印花双魚文皿(中国)
			
		青磁陶器四耳壺(タイ)	青花松梅松文双耳花瓶(中国)
一四五〇	尚思紹、シャムに使を遣わす	一四五二	バレンバン(インドネシア)との交渉はじまる
一四五一	龍潭を掘り安國山を築く	一四五三	志魯・布里の乱が起こり、首里城炎上
一四五二	尚巴志、三山統一	一四五四	尚泰久の即位
一四五三		一四五五	尚泰久の即位
一四五四		一四五六	冊封使の李秉舜ら来琉
一四五五		一四五七	万国津梁の鑑鉢道
一四五六		一四五八	首里城京の内倉庫が炎上
一四五七		一四五九	マラッカへ使者を派遣
一四五八		一五〇〇	首里城欲会門、久慶門の創建
一四五九	首里城守礼門の創建	一五〇一	玉陵を築く
一五〇〇	南方貿易の記録途絶える	一五〇二	

1400

1300 1200

元
英
祖
王
統南宋
舜天王統

察度王統

京の内の遺物

中国・沖縄の主な流れ

琉球



青磁口折蓮弁文皿(中国)



青磁牡丹唐草文盤(中国)



青磁口折蓮弁文皿(中国)



青磁吉祥字文壺(中国)



青花八宝文大合子(中国)



青磁牡丹唐草文大花瓶(中国)



青花牡丹唐草文西(中国)



紅釉水注(中国)



青花龍文高足杯(中国)



五彩菊花文花碗(中国)

- 一三五〇 察度、浦添按司から中山王となり首里へ
 一三六八 明が興る
 一三七一 中山王察度、はじめて明に進貢
 一三八〇 山南王承察度、明に進貢
 一三八三 山北王伯尼等、明に進貢
 一三八五 明の太祖、中山・南山両王に海船贈与
 一三八九 察度、朝鮮(高麗)と通好する
 一三九一 聞人三六姓、渡来と伝わる

- 一四〇四 冊封使、はじめて来琉
 シヤムタイ・船泊來し交易
 尚巴志、武寧王を討ち父・思紹を王にたてる
 〈察度王統滅亡〉、第尚氏興る
 尚巴志、山北王夢安知を討つ

六〇七 磁の場帝、朱寔を琉球に派遣
 一南宋から元にかけて陶磁器の輸出がめざましくなる
 一中国江西省・景德鎮の台頭ー
 一この頃、景德鎮で青花染付磁器が完成するー

南 北 朝 時 代 鎌 倉 時 代 日本

重要文化財指定基準

◎ 考古資料の部

重要文化財

- 一 土器、石器、木器、骨角牙器、玉その他縄文時代及びそれ以前の遺物で学術的価値の特に高いもの
- 二 銅鐸、銅劍、銅鉢その他弥生時代の遺物で学術的価値の特に高いもの
- 三 古墳の出土品その他古墳時代の遺物で学術的価値の特に高いもの
- 四 宮殿・官衙・寺院跡、墓、経塚等の出土品その他飛鳥・奈良時代以後の遺物で学術的価値の特に高いもの
- 五 渡来品で我が国の歴史上意義が深く、かつ、学術的価値の特に高いもの

※ ○ 国宝及び重要文化財指定基準、・(中略)・基準(抄)(昭和 26 年 5 月 10 日文化財保護委員会 告示第 2 号)〔最終改正〕平成 8 年 10 月 26 日文部省告示第 185 号より一部抜粋。

重要文化財指定の名称と指定理由

(考古資料の部)

名称及び員数：沖縄県首里城京の内跡出土陶磁器 518 点

附 一、金属製品	一括
附 一、ガラス玉	一括

所 有 者：沖縄県(沖縄県立埋蔵文化財センター保管)

(庁保美第3の3号平成 12 年 6 月 27 日付け「重要文化財の指定について」
文化庁次長より沖縄県教育委員会教育長あて通知より作成)

説 明 文： 尚氏第一王統時代

本件は、沖縄県那覇市首里当蔵に所在する首里城内郭の南西部にあたる、京の内跡の建物跡から出土した陶磁器の一括である。

「京の内」は靈力のある聖域という意味があり、なかに存在した首里森御嶽は琉球王国の最高神女である間得大君が神を迎えて、歴代の琉球国王に託宣を下した拝所である。
まことおおひめのみや

この京の内跡の発掘調査は国営沖縄記念公園首里城地区整備事業の一環として、平成 6 ~ 7 年度に実施され、約 2000 平方メートルが調査された。その結果、この建物は天順 3 年(1459)に焼失したことが判明した。

出土した陶磁器は、中国産の青磁、白磁、明代の染付を中心に、元代の染付、色絵、褐釉陶・磁器、瑠璃釉、紅釉など、タイ産の褐釉陶器、ベトナム陶器、日本の備前陶器等で構成されている。これらは概ね 14 世紀中頃から 15 世紀中葉のものである。なかでも紅釉水注は、北京の故宫博物院に 2 点と景德鎮窯跡出土の破片 1 点が確認されているのみである。また、元染付の合子は遺存する部分は少ないが、きわめて貴重な出土例である。

また、中国産の陶磁器を中心に、タイ、ベトナム、日本などアジアの主要な陶磁器の生産地から交易によって集められたものが出土している。

琉球王国は首里城正殿前につられていた「万国津梁鑑」の銘文に「船舶を諸国と結ぶ小橋とすることによって異国の宝物類が國中に充満する」(訳文の趣旨)とあるように、中継貿易で栄えた琉球王国の繁栄ぶりを如実に示す貴重な一括資料である。

なおこの建物跡からは、兜鉢、小札、鎖帷子、釘、鍔等の金属製品、火災の際に溶着したガラス小玉塊が出土しており、あわせて保存を図りたい。

(文化庁文化財保護部監修『月刊文化財』平成 12 年 6 月号より抜粋)

※ 官報告示：平成 12 年 6 月 27 日付け文部省告示第 120 号

※ 文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号)第 27 条第 1 項の規定により、平成 12 年 6 月 27 日付けで重要文化財に指定。

重要文化財 首里城京の内跡出土陶磁器指定一覧

重要文化財 考古資料の部

指定名称及び員数：沖縄県首里城京の内跡出土陶磁器 518点

つづたり
附 一、金属製品 一括
つけたり
附 一、ガラス玉 一括

重要文化財 陶磁器内訳

種類	器種:点数	器種:点数	器種:点数
青磁(289点)	碗 103	皿 117	盤 32
	壺 20	大花瓶 2	馬上杯 1
	水注 3	瓶 5	香炉 3
	水滴 1	花盆台 1	大鉢 1
白磁(33点)	碗 14	皿 11	杯 2
	水注 1	壺 1	瓶 4
元染付(2点)	馬上杯 1	大合子 1	
明染付(58点)	碗 32	皿 4	杯 3
	鉢 1	瓶 14	壺 4
色絵(3点)	碗 2	皿 1	
紅釉(1点)	水注 1		
瑠璃釉(2点)	碗 1	瓶 1	
褐釉磁器(1点)	碗 1		
褐釉陶器(35点)	壺 30	水注 1	鉢 1
	壺蓋 1	特殊壺 1	
	蓋 1		
白釉陶器(3点)	壺 2	水注 1	
タイ産褐釉陶器(55点)	壺 55		
タイ産半線土器(22点)	蓋 18	壺 4	
ベトナム陶器(3点)	瓶 1	水注 2	
備前ほか(本土産)(6点)	播鉢 1	かめ甕 3	壺 2
瓦質土器(沖縄産)(5点)	蓋 5		
合計		518点	

重要文化財展示リスト

—図録掲載分—



441 (440) 青花壺(蓋)

15世紀前期(明初期)
口径 22.6cm 器高 27.3cm 底径 20.9cm
総重量 26.0kg 蓋高 6.6cm 内側底径 17.4cm



277 青磁水注

口径 7.2 ~ 7.8cm 器高 14.8cm
底径 6.8cm



439 青花花瓶

15世紀(明初期)
口径 14.0cm 器高 41.4cm 底径 12.8cm



437 (435) 青花瓶(蓋)

15世紀(明初期)
口径 5.5cm 器高 35.2cm 底径 12.3cm



5

2 青磁碗

口径 14cm 器高 7cm 底径 5.2cm



6

278 青磁碗

15世紀(明初期) 口径 26.8 ~ 30.6cm
器高 12.3 ~ 13.9cm 底径 10.2cm



7

432 青花碗

口径 14.4cm 器高 7.1cm 底径 5.9cm



8

328 青花碗

15世紀(明初期)
口径 13.0cm 器高 6.1cm 底径 4.8cm



9

298 青花高足杯

14世紀後期(明初期)
口径 14.2cm 器高 11.8cm 底径 4.7cm



10

348 青花水注



11

347 ベトナム青花水注



12

5 青磁碗

15世紀(明初期)
口径 17.4cm 器高 9.2cm 底径 6.6cm



13

334 青花皿

15世紀(明初期)
口径 20cm 器高 4.4cm 底径 12.1cm



14

289 青磁蓋(身:288)

15世紀前期(明初期)
外径 30.2cm 高さ 8.3cm 内径 20.2cm



15

142 青磁皿

14世紀後期(明初期)
口径 12.4cm 器高 3.9cm 底径 5.8cm



16

139 青磁皿

15世紀前期(明初期)
口径 12.2cm 器高 3.8cm 底径 6.2cm

Exhibition List of Important Cultural Properties



335 小瓶



434 青花鉢



47 青磁椀



431 (430) 青花合子

14世紀（元末期）
口径 30.4cm 器高 18.3cm 底径 22.2cm



21

129 青磁皿

口径 10.2cm 器高 3.2cm 底径 6cm



22

288 青磁壺（蓋：289）

15世紀前期（明初期）
口径 25.5cm 器高 26.3cm 底径 19.0cm



23

306 青花椀

15世紀中期～後期（明代）
口径 12.0cm 器高 6.3cm 底径 5.4cm



24

309 青花椀



25

314 青花椀

口径 15.4cm 器高 7.4cm 底径 5.4cm



26

4 青磁椀

15世紀（明初期）
口径 15.5cm 器高 7.6cm 底径 5.9cm

重要文化財展示リスト

—図録掲載外—



297 青磁花瓶

15世紀前期（明初期）
口径 26.7cm 器高 62.7cm 底径 14.6cm



438 (436) 青花瓶（蓋）

15世紀（明初期）
口径 5.5cm 器高 35.9cm 底径 11.8cm



446 ベトナム青花瓶

15世紀
口径 9.2cm 器高 29.8cm 底径 9.0cm



290 青磁壺

15世紀（明初期）
口径 24.1cm 器高 24.7cm 底径 18.5cm



448 褐釉陶器壺

口径 19.8cm 器高 50.8cm 底径 15.7cm



339 青花瓶



341 青花瓶



125 青磁皿

口径 10.9cm 器高 3.2cm 底径 5.9cm



204 青磁皿

15世紀前期（明初期）
口径 14.0cm 器高 3.3cm 底径 7.7cm



326 青花碗

口径 16cm 器高 7.7cm 底径 5.6cm



444 五彩碗

15世紀前期（明初期）
口径 11.0cm 器高 5.9cm 底径 4.4cm



65 青磁碗

口径 15.6cm 器高 8cm 底径 6cm



71 青磁碗

口径 11.9cm 器高 5.6cm 底径 5cm



76 青磁碗

口径 15.1cm 器高 7.6cm 底径 6.2cm

国指定重要文化財公開 首里城京の内跡出土品展
—文様に込められた思い—

発行年月日 平成 25 年 (2013) 11 月 1 日

編集・発行 沖縄県立埋蔵文化財センター

〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原 193-7
TEL 098-835-8751 FAX 098-835-8754
HP <http://www.pref.okinawa.jp/edu/>



〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原 193-7 (琉球大学附属病院横)

TEL 098-835-8751(代表)

開院時間：午前 9 時～午後 5 時（入所は午後 4 時 30 分まで）

休 所：毎週月曜日（当曜日が国定の休日に当たる場合は翌次曜日まで休所）

年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）国民の祝日（子供の日・文化の日を除く）